

巨大都市・複合災害に対する 建築・情報学融合による エリア防災活動支援技術の 開発と社会実装

主催 | 工学院大学 総合研究所 都市減災研究センター(UDM)



第1部

平成30年度ブランディング事業成果報告

15:00-17:00

あいさつ・事業概要

久田嘉章 (工学院大学建築学部教授・総合研究所都市減災研究センター長)

研究テーマの概要と成果報告

テーマ1「大都市中心エリアを対象としたオールハザード対応キットの開発」

村上正浩 (工学院大学建築学部教授・テーマ1リーダー)

テーマ2「機能継続・早期復旧を可能とする大地震対策建築モデルの開発」

山下哲郎 (工学院大学建築学部教授・テーマ2リーダー)

田村雅紀 (工学院大学建築学部教授・テーマ2サブリーダー)

テーマ3「エリア防災拠点をつなぐ自立移動式災害対応支援ユニットの開発」

中島裕輔 (工学院大学建築学部教授・テーマ3リーダー)

水野修 (工学院大学情報学部教授・テーマ3サブリーダー)

広報・ブランディング

佐野勇一郎 (工学院大学総合企画部 広報課長)

質疑

第2部

招待講演・関連事業成果報告

17:00-18:00

招待講演:「防災科学技術研究所における地震観測・予測情報の利活用技術開発」
木村武志 氏 (国立研究開発法人 防災科学技術研究所)

SIP (戦略的イノベーション創造プログラム)・研究開発課題名「巨大都市・大規模ターミナル駅周辺地域における複合災害への対応支援アプリケーションの開発」および防災科学技術研究所・公募研究「長周期地震動に関する観測・予測情報の利活用技術開発に関する研究」による成果紹介

久田嘉章 (工学院大学建築学部教授・総合研究所都市減災研究センター長)

村上正浩 (工学院大学建築学部教授)

むすびのこたば

佐藤光史 (工学院大学 学長)

交流会 (終了後:7階学生食堂)



避難所開設キット



防災アプリ



防災 WEEK での展示風景

2019.3.13 [水] 15:00-18:00

場所 | 工学院大学 新宿キャンパス 10階 1012教室

新宿キャンパスへのアクセス

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1丁目24番2号

- JR「新宿駅」下車、西口より徒歩5分
- 京王線、小田急線、地下鉄各線「新宿駅」下車、徒歩5分
- 都営大江戸線「都庁前駅」下車、徒歩3分
- 西武新宿線「西武新宿駅」下車、徒歩10分